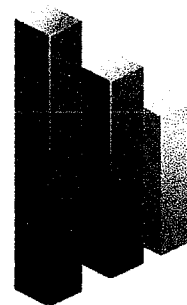
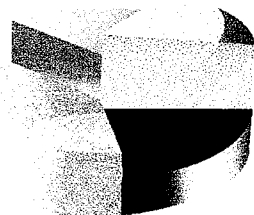


広島市 がん検診実施状況 ～データ分析と評価～

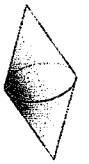


2015(平成27)年度
広島県がん検診精度管理推進事業報告書

広島県
公益財団法人広島県地域保健医療推進機構



目次



	ページ
1. 平成24～26年度 がん検診実施状況 (受診率,要精検率,精検受診率,未把握率,がん発見率)	1
2. 各種がん検診の推移	2
3. 平成26年度 受診率(市町別,性別,年齢階級別)	3 ~ 4
4. 平成25年度 精検受診状況(市町別,検診区分別)	5 ~ 6
5. がん発見率・陽性反応適中度	7
6. 平成21～25年度 検診歴別 (がん発見率・早期のがん割合,初回・非初回)	8
7. 平成26～27年度 チェックリスト評価	9 ~ 14
8. ～あなたの市町へのメッセージ～	15 ~ 17

【評価委員名(職名)と専門分野(敬称略)】

平成28年2月1日に評価会議を開催しました。

広島大学大学院医歯薬保健学研究院(教授) 河野 修興(委員長)

同 上 (教授) 田中 純子(疫学的分析評価)

同 上 (教授) 片岡 健(乳がん)

同 上 (准教授) 北台 靖彦(胃がん・大腸がん)

同 上 (助教) 平田 英司(子宮頸がん)

広島県立広島病院 呼吸器内科 (部長) 石川 暢久(肺がん)

(公財)広島県原爆障害対策協議会 健康管理・増進センター
(所長) 藤原 佐枝子

広島県健康福祉局 医療・がん対策部長 金光 義雅
(公財)広島県地域保健医療推進機構 健康づくり推進部長
佐古 通

【オブザーバー(敬称略)】 医療法人 加藤内科クリニック 加藤 雅史
医療法人 野村内科医院 野村 俊也
医療法人 横山内科医院 横山 行男

がん検診事業評価指標と各項目の許容値・目標値

	許容値					目標値
	胃がん	大腸がん	肺がん	子宮頸がん	乳がん	
要精検率	11.0%以下	7.0%以下	3.0%以下	1.4%以下	11.0%以下	
精検受診率	70%以上				80%以上	90%以上
精検未受診率	20%以下				10%以下	5%以下
精検未把握率	10%以下					5%以下
がん発見率	0.11%以上	0.13%以上	0.03%以上	0.05%以上	0.23%以上	
陽性反応適中度	1.0%以上	1.9%以上	1.3%以上	4.0%以上	2.5%以上	

出典：「市町村事業におけるがん検診の事業評価の手法について」平成19年6月がん検診に関する検討会

許容値：最低限の基準値

目標値：全ての県が目標とすべき値

平成24～26年度 がん検診実施状況

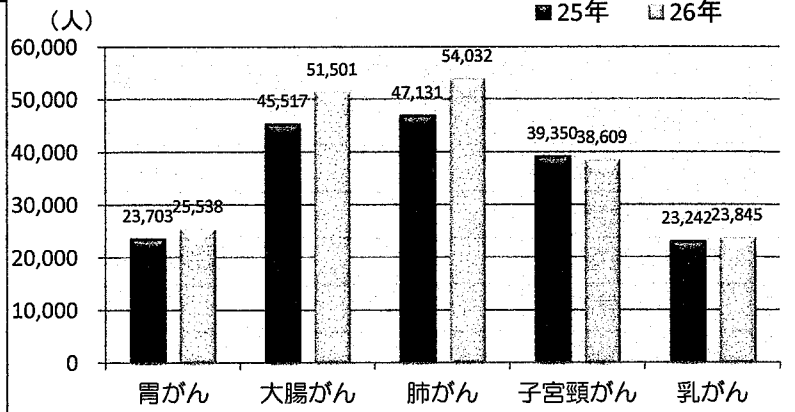
部位	項目	広島市			広島県
		受診率24年度 要精検率～ がん発見率23年度	受診率25年度 要精検率～ がん発見率24年度	受診率26年度 要精検率～ がん発見率25年度	受診率26年度 要精検率～ がん発見率25年度
胃がん	受診率（40-69歳）	11.2 %	10.2 %	11.7 %	12.0 %
	要精検率(全年齢)	11.5 %	7.0 %	6.3 %	6.7 %
	精検受診率(全年齢)	84.8 %	76.6 %	56.6 %	73.2 %
	精検未把握率(全年齢)	15.1 %	18.3 %	43.1 %	17.7 %
	がん発見率(全年齢)	0.38 %	0.18 %	0.16 %	0.15 %
大腸がん	受診率（40-69歳）	20.4 %	19.6 %	21.5 %	23.2 %
	要精検率(全年齢)	8.2 %	9.3 %	9.8 %	8.8 %
	精検受診率(全年齢)	69.5 %	57.4 %	41.2 %	60.3 %
	精検未把握率(全年齢)	28.3 %	31.7 %	58.1 %	27.4 %
	がん発見率(全年齢)	0.25 %	0.27 %	0.15 %	0.23 %
肺がん	受診率（40-69歳）	18.7 %	18.0 %	21.1 %	19.8 %
	要精検率(全年齢)	4.0 %	3.1 %	3.2 %	3.6 %
	精検受診率(全年齢)	75.5 %	67.7 %	42.6 %	68.4 %
	精検未把握率(全年齢)	24.0 %	23.6 %	56.4 %	22.7 %
	がん発見率(全年齢)	0.12 %	0.07 %	0.04 %	0.06 %
子宮頸がん	受診率（20-69歳）	39.8 %	42.2 %	45.2 %	41.5 %
	要精検率(全年齢)	1.7 %	2.6 %	2.3 %	2.3 %
	精検受診率(全年齢)	59.0 %	53.3 %	39.0 %	66.6 %
	精検未把握率(全年齢)	40.8 %	36.5 %	60.7 %	29.1 %
	がん発見率(全年齢)	0.06 %	0.05 %	0.05 %	0.07 %
乳がん	受診率（40-69歳）	40.6 %	39.6 %	40.6 %	35.6 %
	要精検率(全年齢)	6.4 %	6.7 %	7.3 %	7.1 %
	精検受診率(全年齢)	77.7 %	76.9 %	64.3 %	79.4 %
	精検未把握率(全年齢)	22.3 %	15.4 %	35.5 %	17.8 %
	がん発見率(全年齢)	0.38 %	0.47 %	0.31 %	0.33 %

※青字は目標値に達しているもの 赤字は許容値外のもの

●各種がん検診の推移

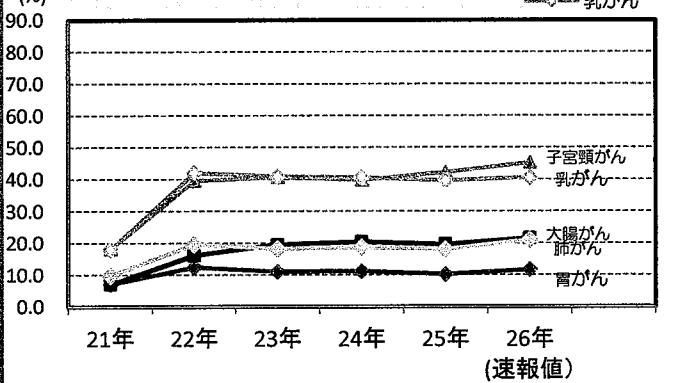
【受診者数の推移（H25～26）】

	受診者数	
	H25	H26
胃がん	23,703 人	25,538 人
大腸がん	45,517 人	51,501 人
肺がん	47,131 人	54,032 人
子宮頸がん	39,350 人	38,609 人
乳がん	23,242 人	23,845 人



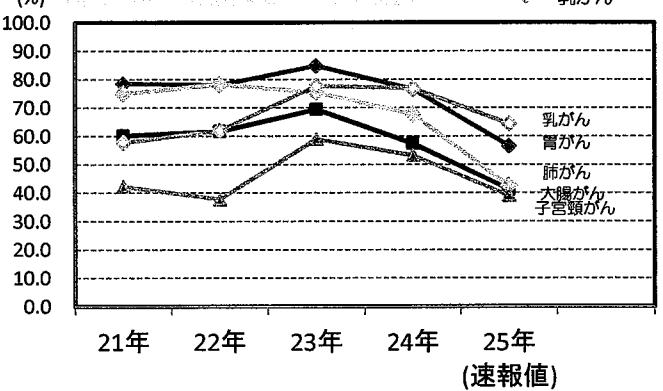
【広島市】

受診率40(20)～69歳（H21～26）



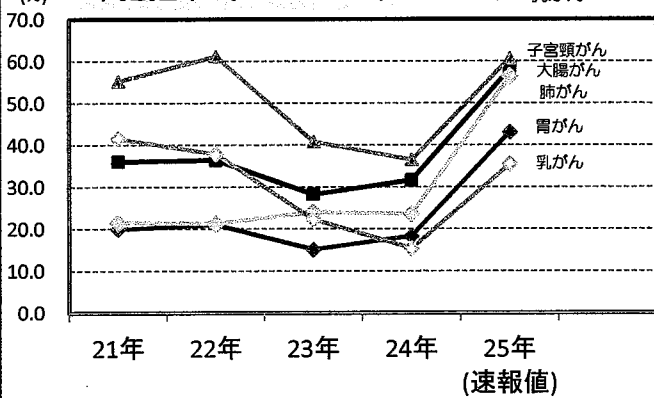
【広島市】

精検受診率（H21～25）



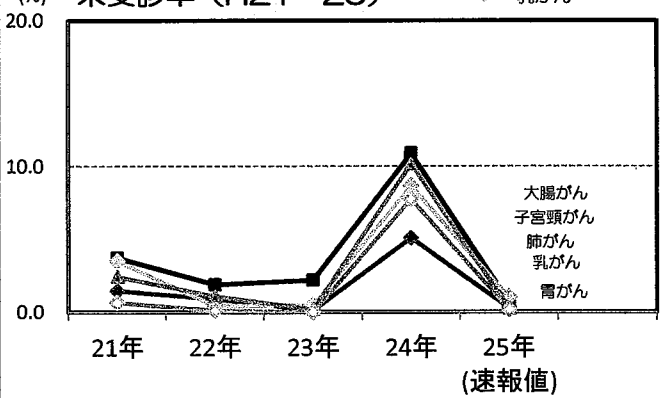
【広島市】

未把握率（H21～25）



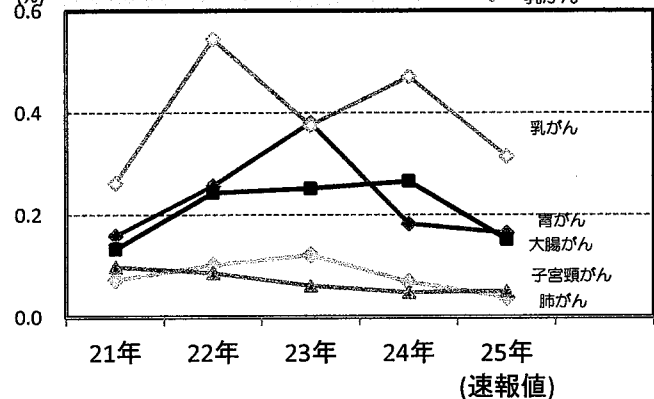
【広島市】

未受診率（H21～25）



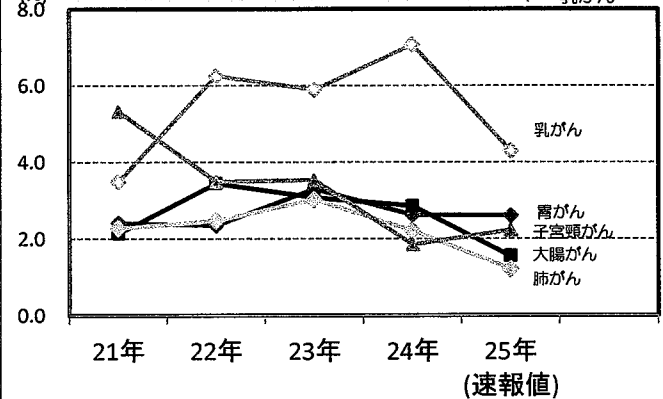
【広島市】

がん発見率（H21～25）



【広島市】

陽性反応適中度（H21～25）



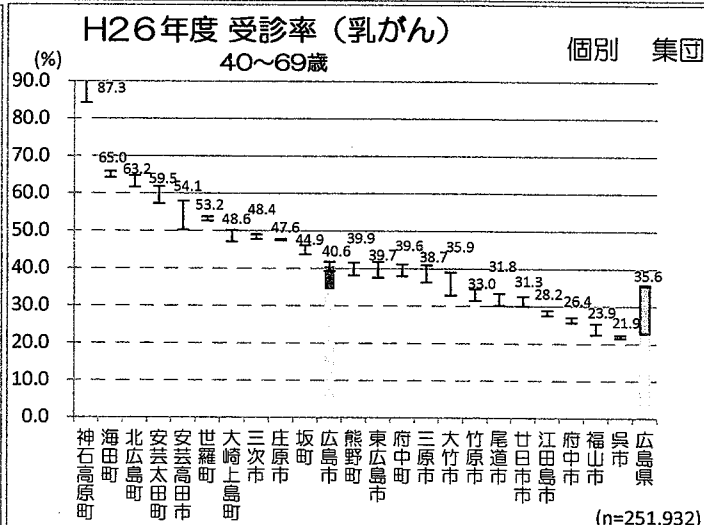
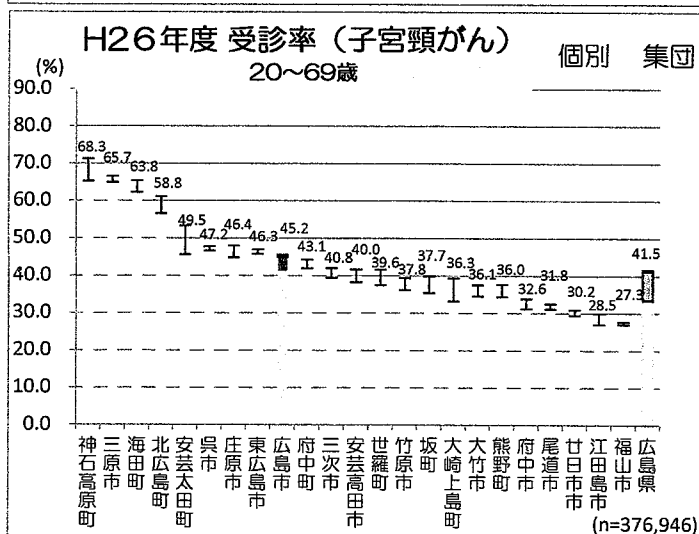
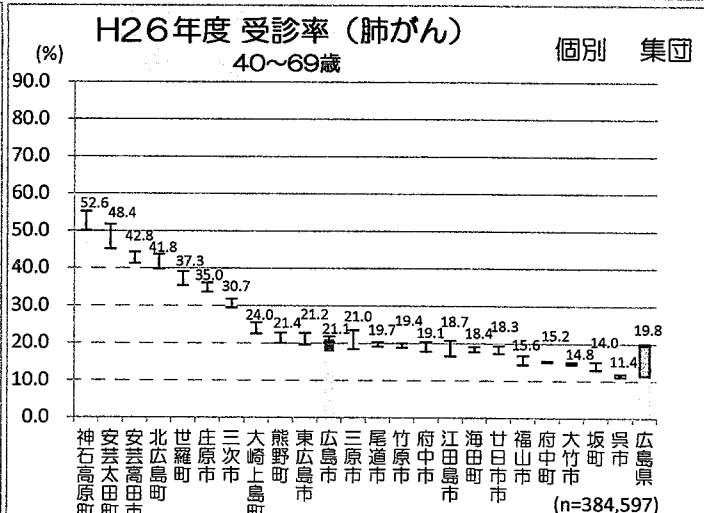
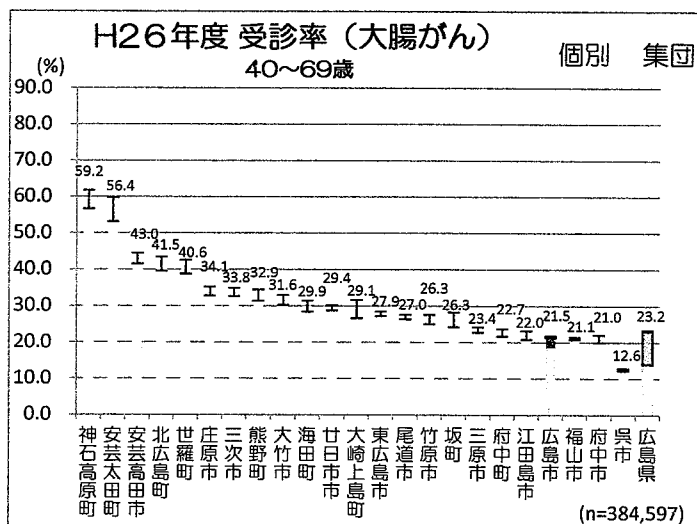
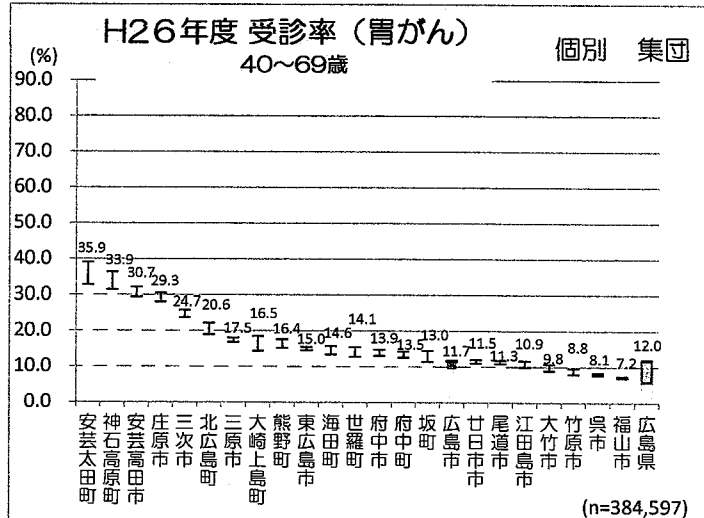
【受診率】

算出式：①－(②－③)－④－⑤

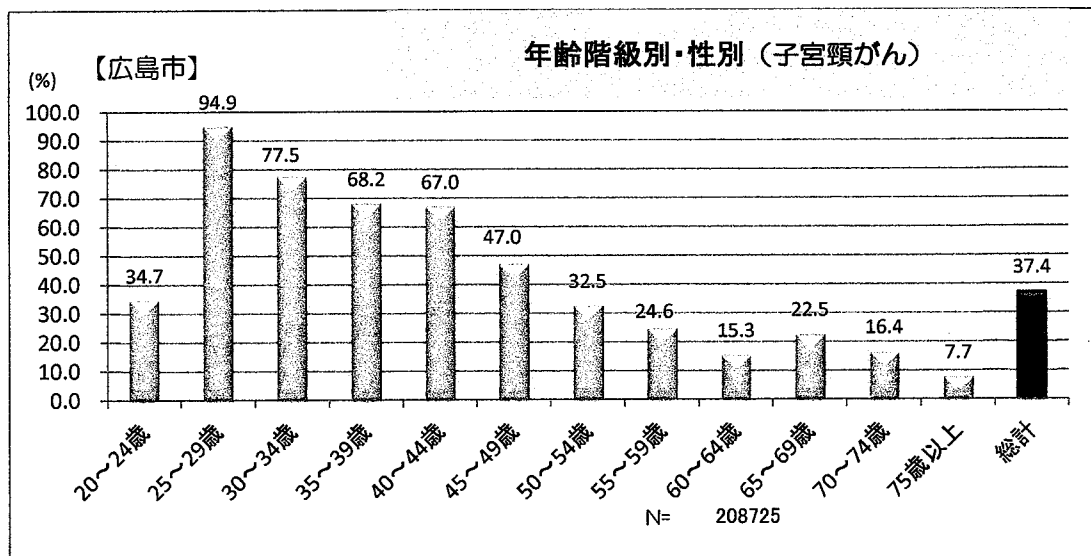
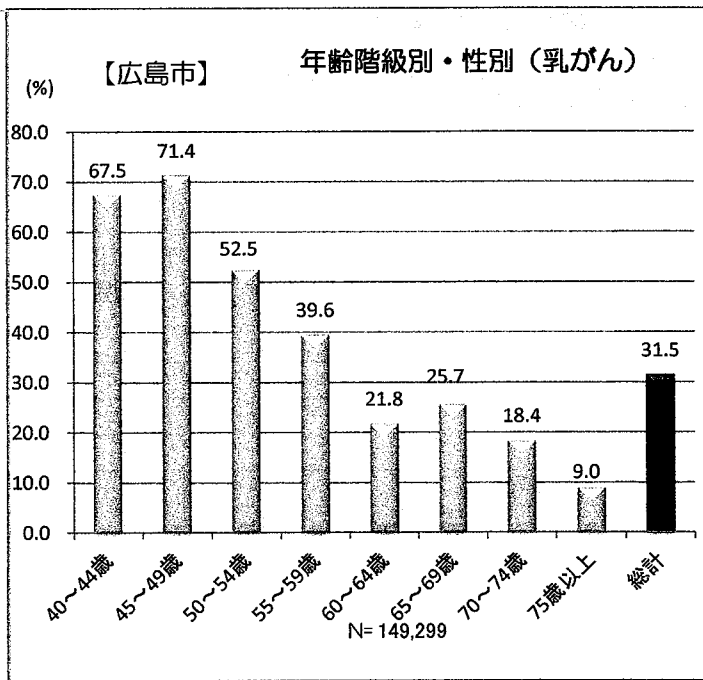
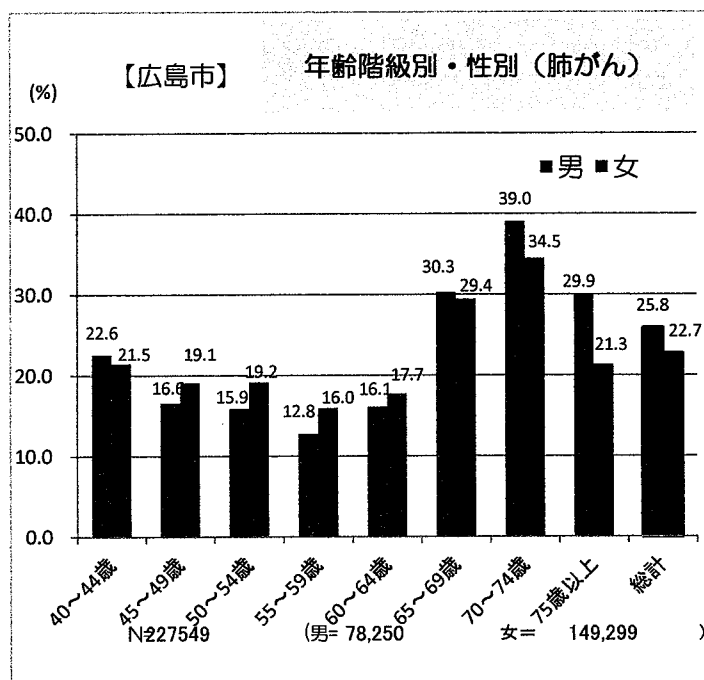
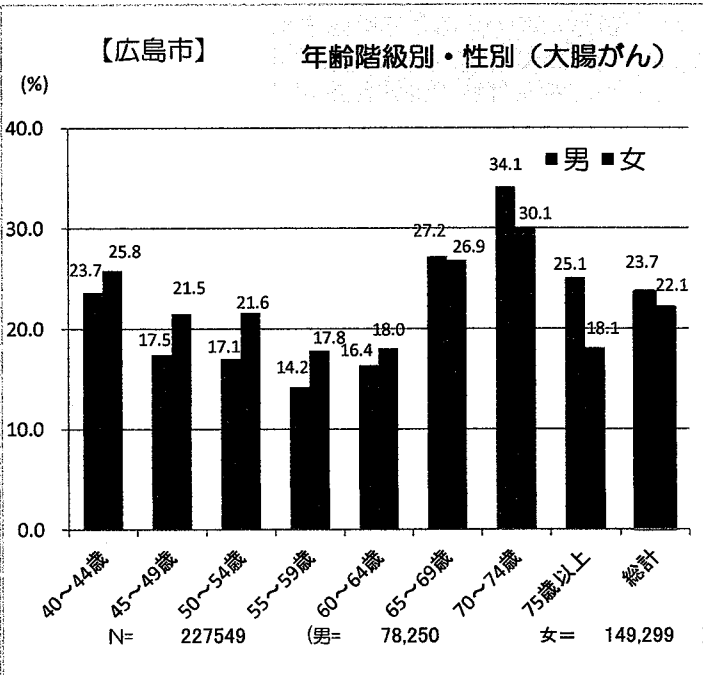
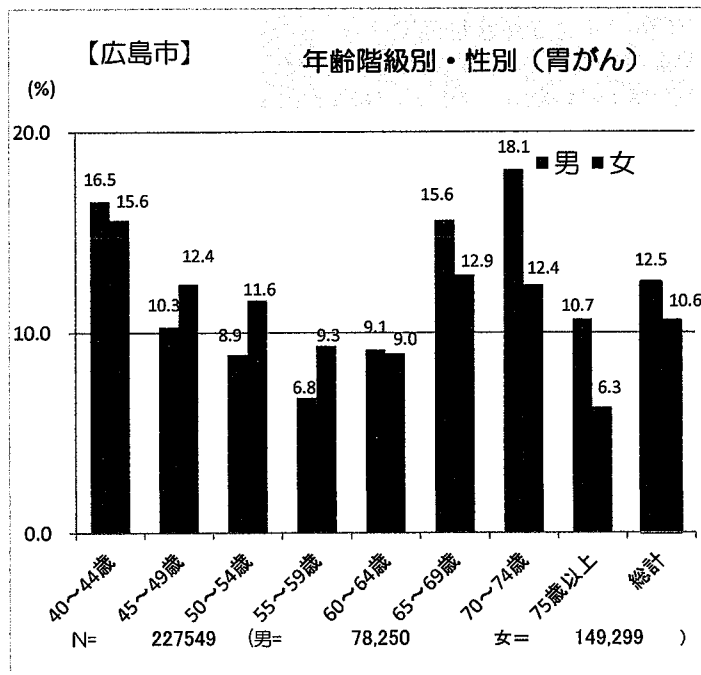
$$(\text{受診者数}) / (\text{対象者数}) \times 100$$

- ① 40歳～69歳の市町人口 ※子宮頸がんについては20～69歳
② 40歳～69歳の就業者数 //
③ 40歳～69歳の農林水産従事者 //
④ 40～69歳の要介護4・5の認定者 //
(⑤ 県内市町に居住する被曝者健康手帳等所持者及び1種健康診断受診者証所持者)

項目	受診率 40(20)～69歳	順位
胃がん	11.7 %	16 位
大腸がん	21.5 %	20 位
肺がん	21.1 %	11 位
子宮頸がん	45.2 %	9 位
乳がん	40.6 %	11 位



●平成26年度 受診率 (年齢階級・性別)



●平成25年度 精検受診状況

【精検受診率】

「要精密検査」と判定された方のうち、実際に精密検査を受けた人の割合です。がん検診の精度管理の最も重要な指標と位置付けられており、100%に近いほどよい。精密検査を受けなければ、早期発見・早期治療に結びつかない。

精検受診、未把握、精検未受診の定義

- 精検受診：精検実施機関より精密結果の報告があったもの。もしくは、何らかの方法で詳細が把握できたもの。
 - 未把握：精検受診の有無が不明なもの。及び精検受診しても結果の詳細が把握できないもの全て。
 - 未受診：要精検者が精検実施機関に行かなかったことが判明しているもの。
及び精検として不適切な検査が行われたもの
- ※不適切な検査
- ・大腸がん精密検査における便潜血検査のみの再検査
 - ・肺がん検診における喀痰要精検者に対する喀痰細胞診の再検査

【計算式】精検受診率：

$$(\text{精検受診者数}) / (\text{要精検者数}) \times 100$$

【計算式】未把握率：

$$(\text{未把握者数}) / (\text{要精検者数}) \times 100$$

【計算式】未受診率：

$$(\text{未受診者数}) / (\text{要精検者数}) \times 100$$

精検受診率は

広島県において、5がんとも下がっています。

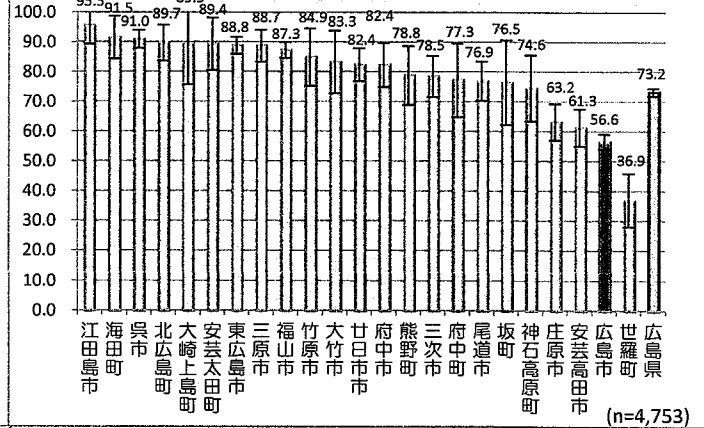
精検受診率が下がると、未把握率・未受診率は増えることになります。

がん検診の精度管理を目的とした情報提供は、厚生労働省の「医療・介護関係事業者における個人情報の適切な取扱いのためのガイドライン」上において、本人の同意を得る必要がないものと規定されています。

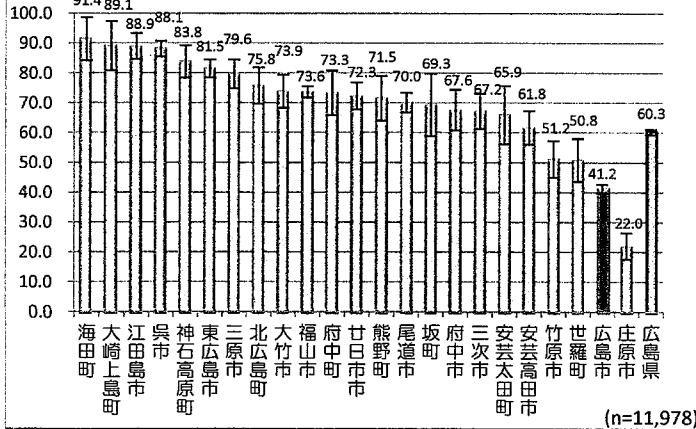
精検受診率順位(23市町中) 【広島市】

項目	精検受診率	順位
胃がん	56.6 %	22 位
大腸がん	41.2 %	22 位
肺がん	42.6 %	23 位
子宮頸がん	39.0 %	21 位
乳がん	64.3 %	23 位

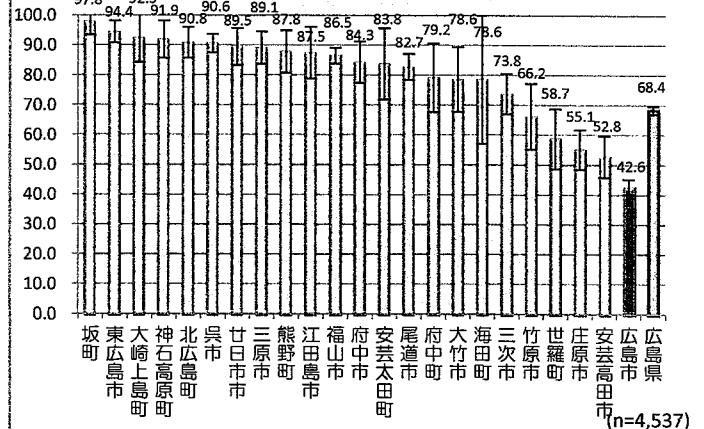
H25年度 精検受診率（胃がん）



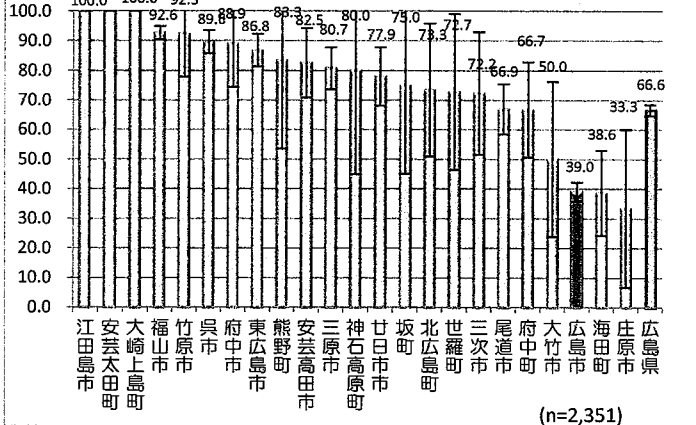
H25年度 精検受診率（大腸がん）



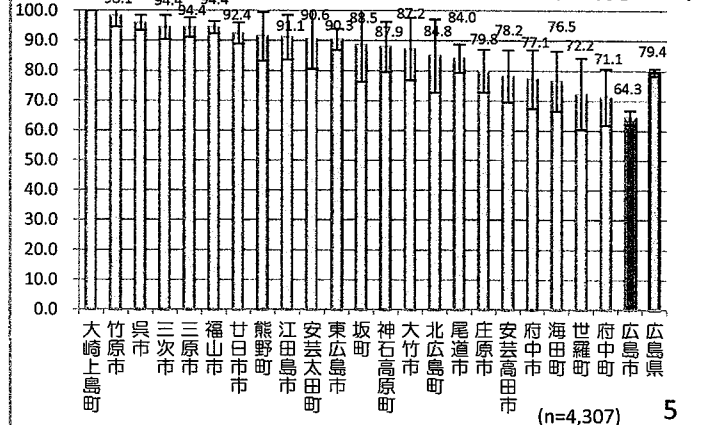
H25年度 精検受診率（肺がん）



H25年度 精検受診率（子宮頸がん）



H25年度 精検受診率（乳がん）



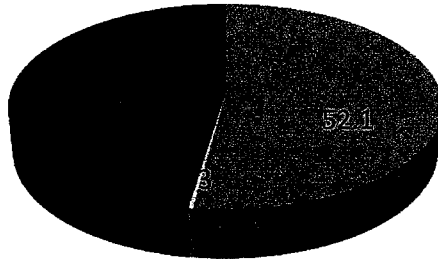
●平成25年度 要精密検査者の追跡

H25年度（胃がん）

【広島市】

(%)

■精検受診率 ■未受診率 ■未把握率
個別検診受診者数 15,678 人
個別検診

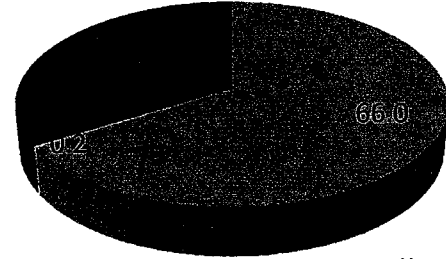


N= 1,008

【広島市】

(%)

■精検受診率 ■未受診率 ■未把握率
集団検診受診者数 8,025 人
集団検診



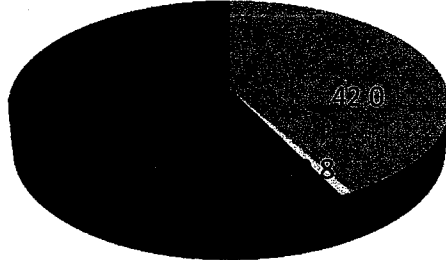
N= 485

H25年度（大腸がん）

【広島市】

(%)

■精検受診率 ■未受診率 ■未把握率
個別検診受診者数 40,180 人
個別検診

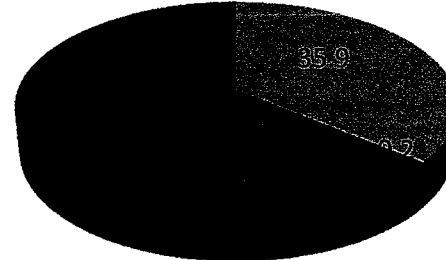


N= 3,886

【広島市】

(%)

■精検受診率 ■未受診率 ■未把握率
集団検診受診者数 5,337 人
集団検診



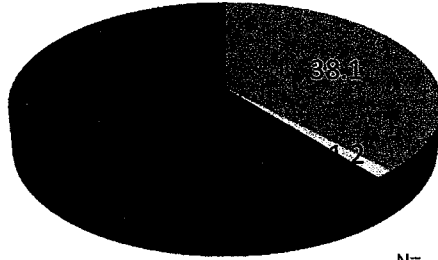
N= 565

H25年度（肺がん）

【広島市】

(%)

■精検受診率 ■未受診率 ■未把握率
個別検診受診者数 38,339 人
個別検診



N= 1,252

【広島市】

(%)

■精検受診率 ■未受診率 ■未把握率
集団検診受診者数 8,792 人
集団検診



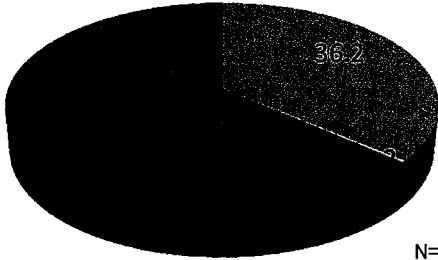
N= 235

H25年度（子宮頸がん）

【広島市】

(%)

■精検受診率 ■未受診率 ■未把握率
個別検診受診者数 33,935 人
個別検診

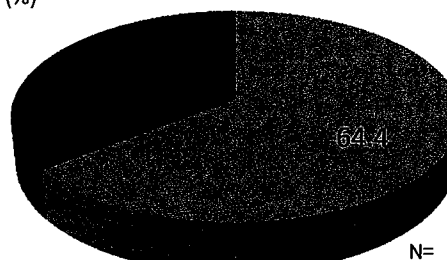


N= 809

【広島市】

(%)

■精検受診率 ■未受診率 ■未把握率
集団検診受診者数 5,415 人
集団検診



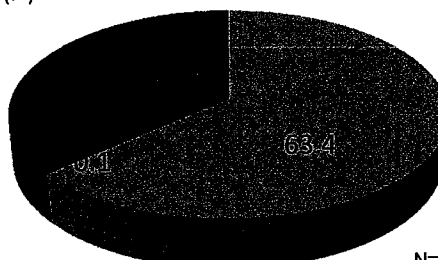
N= 90

H25年度（乳がん）

【広島市】

(%)

■精検受診率 ■未受診率 ■未把握率
個別検診受診者数 17,928 人
個別検診

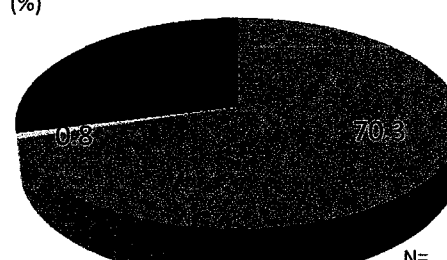


N= 1,458

【広島市】

(%)

■精検受診率 ■未受診率 ■未把握率
集団検診受診者数 5,314 人
集団検診



N= 239

●がん発見率・陽性反応適中度

【がん発見率】

受診された人のうちがんが発見された人の割合です。高いことが望ましい。

がん検診の対象者集団の有病率に留意する。

【陽性反応適中度】

「要精密検査」とされた人のうち、実際にがんであった人の割合です。

基本的には高い値が望ましい。

※がん発見率・陽性反応適中度も受診者数の少ない自治体では年度による変動が大きいので、3年（または5年）の累積で評価する必要がある。

【計算式】がん発見率：

$$(\text{がんであった者}) / (\text{受診者数}) \times 100$$

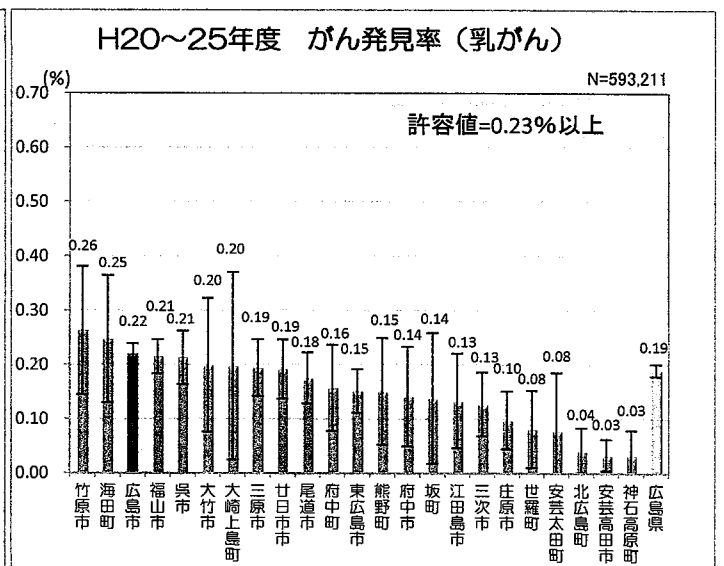
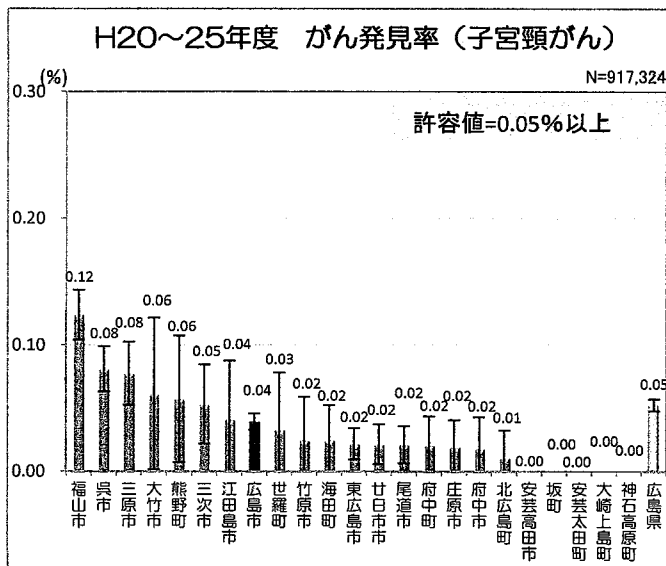
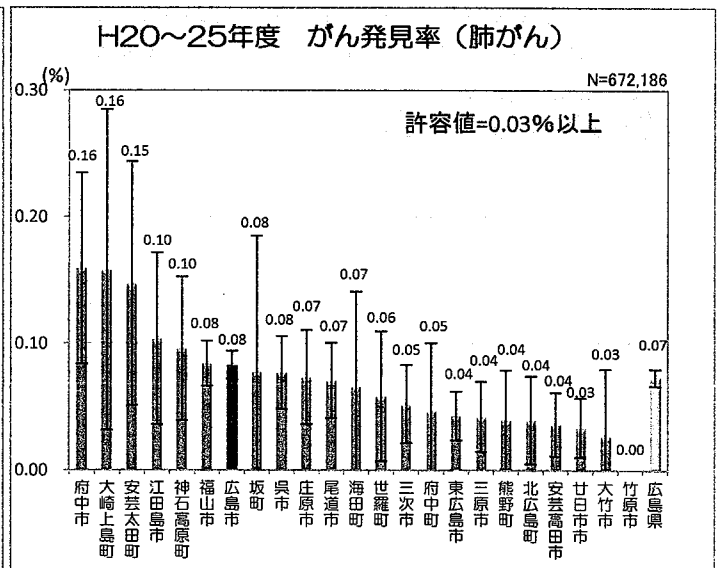
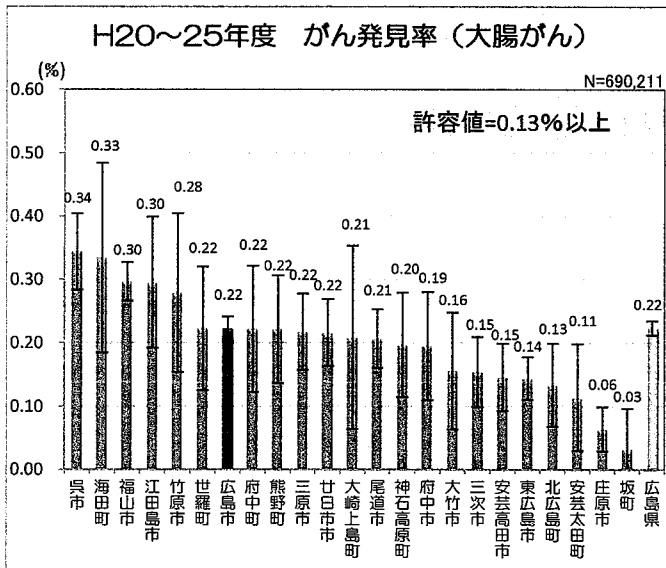
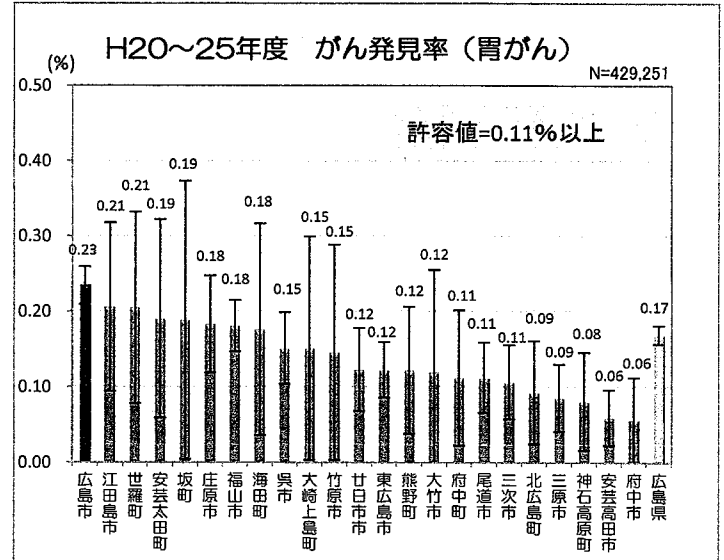
【計算式】陽性反応適中度：

$$(\text{がんであった者}) / (\text{要精検者数}) \times 100$$

がん発見率順位(23市町中)

平成20～25年度分（6年間集計）【広島市】

項目	がん発見率	順位	陽性反応適中度	順位
胃がん	0.23 %	1 位	2.81 %	2 位
大腸がん	0.22 %	7 位	2.72 %	13 位
肺がん	0.08 %	7 位	2.34 %	6 位
子宮頸がん	0.04 %	8 位	3.56 %	11 位
乳がん	0.22 %	3 位	5.55 %	4 位



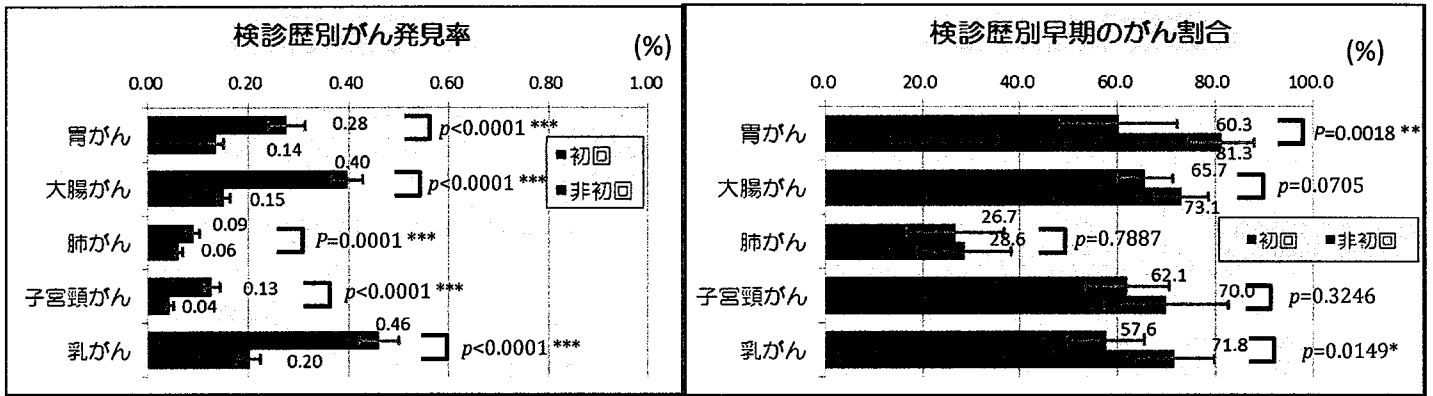
平成21～25年度 検診歴別（がん発見率・早期のがん）

（出典：平成21～24年度は地域保健・健康増進事業報告（確定値）、25年度は広島県独自調査（速報値））

●検診歴別がん発見率

H 95%信頼区間

□ p=paired test(有意差検定)



初回(初回受診群) …過去3年間に検診受診歴のないもの
 非初回(継続受診群) …過去3年間に検診受診歴のあるもの
 ※肺がんのみ1年間の受診歴別

早期のがん数は下記の値をカウント

	早期のがん数
胃がん	早期がん
大腸がん	早期がん
肺がん	臨床病期Ⅰ期
子宮頸がん	上皮内がん
乳がん	早期がん

継続的受診が早期のがん発見の決め手

- 初回受診群(過去3年間に受診歴のない者)は、継続受診群(過去3年間に受診歴のある者)より、**がん発見率が高い**と言えます。
- 継続受診群は、初回受診群より**早期がん発見率は高い**傾向にあります。
- 特に、胃がん・乳がん検診においては、非初回（継続）受診群のほうが有意に早期で発見される傾向があります。
- 継続的な受診は、がんの早期発見・早期治療につながる可能性を示唆しています。

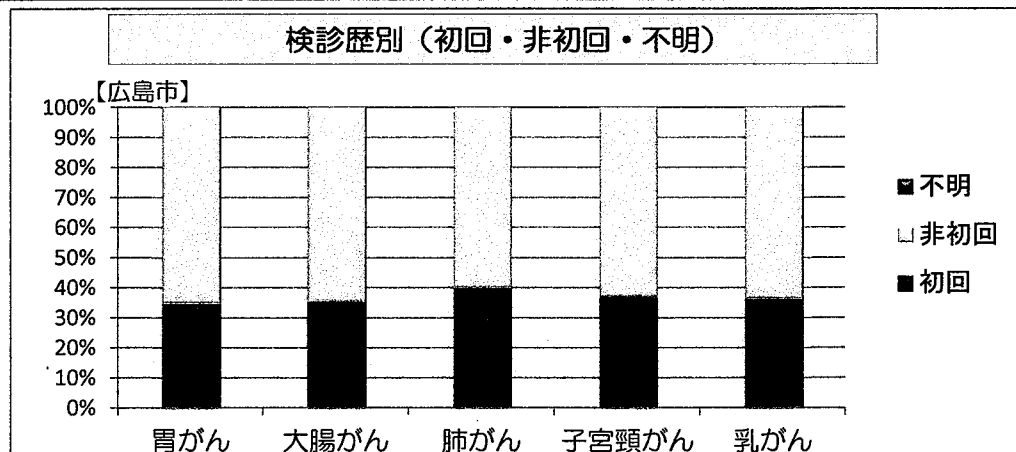
平成26年度 受診者数 検診歴別（初回・非初回・不明）

【広島市】

項目	受診者数	初回	率	非初回	率	不明	率
胃がん	25,538 人	8,838 人	34.6 %	16,700 人	65.4 %	0 人	0.0 %
大腸がん	51,501 人	18,036 人	35.0 %	33,465 人	65.0 %	0 人	0.0 %
肺がん	54,032 人	21,489 人	39.8 %	32,543 人	60.2 %	0 人	0.0 %
子宮頸がん	38,609 人	14,213 人	36.8 %	24,396 人	63.2 %	0 人	0.0 %
乳がん	23,845 人	8,608 人	36.1 %	15,237 人	63.9 %	0 人	0.0 %

検診歴別（初回・非初回・不明）

【広島市】



国立がん研究センターが実施する「市区町村におけるがん検診チェックリストの使用に関する実態調査」について

変更：質問項目の増

集団のみでなく個別についても同じ質問項目にて回答

基礎調査

平成27年度のがん検診実施体制について(質問1～3)

平成27年度に実施した内容について回答

調査1

- 【1】検診対象者(問1-1～1-3)
- 【2】受診者の情報管理(問2-1～2-3)
- 【3】受診者もしくは要精検者への説明(問3-1～3-5)
- 【4】精密検査結果の把握、精検未受診者の特定と受診勧奨(問4-1～4-2)
- 【5】精密検査の記録、共有(問5-1～5-2)
- 【6】がん検診集計の報告(問6-1～6-2-1)
- 【7】検診機関、精密検査機関への委託(問7-1～7-3)
- 【8】検診機関へのフィードバック(課題の共有)(問8-1～8-2)

調査2

- 【9】受診者数(問9-1～9-1-3)
- 【10】要精検率(問10-1～10-1-3)
- 【11】精検受診率(問11-1～11-1-3)
- 【12】精検未受診率(問12-1)
- 【13】がん発見率(問13-1～13-1-4)
- 【14】陽性反応適中度(問14-1～14-1-4)
- 【15】早期がん割合(問15-1～15-1-4)
- 【16】粘膜内がん／非浸潤がん(問16-1 胃がん・大腸がん・乳がん)
- 【17】上皮内病変数の区分毎または上皮内がん割合の把握(問17-1～17-1-3 子宮頸がん)
- 【18】微小浸潤がん割合(問18-1～18-1-3 子宮頸がん)

平成26年度
地域保健・健康増進
事業報告(平成25年
度検診結果)において
計上したデータを基に
集計している場合「○」

あなたの市町
は。。。。

平成26～27年度 チェックリスト評価

【広島市】

	評価	胃がん	大腸がん	肺がん	子宮頸がん	乳がん
集団	26年度	B	B	B	B	B
	27年度	B	B	B	B	B
個別	27年度	B	B	B	B	B

【参 考】

評価方法

「がん検診のためのチェックリスト(市町村用)」の主要指標22項目及び精密検査受診率全国比較を含む合計23項目中、基準を満たした度合いにより、次の分類で評価する。

- A. 「基準」を全て満たしている。
- B. 「基準」を一部満たしていない。(1～4項目満たしていない。)
- C. 「基準」を相当程度満たしていない。(5～9項目満たしていない。)
- D. 「基準」から極めて逸脱している。(10項目以上満たしていない。)
- E. 回答がない。

平成27年度 胃がん検診精度管理調査結果（チェックリスト）

【広島市】

検診種別		評価	点数		A判定まであと		B判定まであと	
胃がん	集団	B	22点中	20 点	あと	2 点	あと	- 点
	個別	B	22点中	20 点	あと	2 点	あと	- 点

			集団			個別	
チェックリスト 質問番号	チェックリスト項目	備考	H26 (23項目)	H27 (22項目)	今年度 23市町 遵守率	H27 (22項目)	今年度 23市町 遵守率
1 「胃がん検診のためのチェックリスト」で主要指標とされる以下の指標の実施状況							
1.検診対象者							
問1-1	(1)対象者の網羅的な名簿を住民台帳などに基づいて作成しているか		◎	◎	95.7	◎	60.9
問1-2	(2)対象者に均等に受診勧奨を行っているか		◎	◎	17.4	◎	8.7
2.受診者の情報管理							
問2-1	(1)対象者数(推計含む)を把握しているか		◎	◎	100.0	◎	69.6
問9-1-1	(2)受診者数 性別・年齢階級別の把握		◎	◎	100.0	◎	73.9
問2-2	(3)個人別の受診(記録)台帳またはデータベースを作成しているか	(3-a)～(3-c)の うち、3項目中2 項目以上○で(3) は◎とする。	◎	◎	91.3	◎	65.2
問9-1-3	(3-a)受診者数 検診受診歴別の把握		○	○	82.6	○	56.5
問9-1-2	(3-b)受診者数 検診機関別の把握		○	○	100.0	○	65.2
問2-3	(3-c)過去3年間の受診歴を記録しているか		○	○	87.0	○	60.9
3.要精検率の把握							
問10-1	(1)要精検率の把握		◎	◎	100.0	◎	69.6
問10-1-1	(2)要精検率 性別・年齢階級別の把握		◎	◎	95.7	◎	65.2
問10-1-2	(3)要精検率 検診機関別の把握		◎	◎	87.0	◎	52.2
問10-1-3	(4)要精検率 検診受診歴別の把握		◎	◎	73.9	◎	56.5
4.精検受診の有無の把握と受診勧奨							
問11-1	(1)精検受診率の把握	(1-a)(1-b)のう ち、2項目中1項目 以上○で(1)は◎と する。	◎	◎	100.0	◎	65.2
問11-1-1	(1-a)精検受診率 性別・年齢階級別の把握		○	○	95.7	○	60.9
問11-1-2	(1-b)精検受診率 検診機関別の把握		○	○	78.3	○	43.5
問11-1-3	(2)精検受診率 検診受診歴別の把握		◎	◎	73.9	◎	52.2
問12-1	(3)精検未受診率の把握		◎	◎	100.0	◎	69.6
問4-2	(4)精検未受診者に精密検査の受診勧奨を行っているか		◎	◎	95.7	◎	47.8
5.精密検査結果の把握							
問4-1	(1)精密検査結果及び治療の結果を把握しているか		×	◎	100.0	◎	52.2
問5-1	(2)過去3年間の精密検査結果を記録しているか		◎	◎	87.0	◎	56.5
問4-1-2	(3)精密検査の検査方法を把握しているか		×	◎	87.0	◎	56.5
問13-1	(4)がん発見率の把握	(4-a)～(4-c)の うち、3項目中2 項目以上○で(4) は◎とする。	◎	◎	91.3	◎	56.5
問13-1-1	(4-a)がん発見率 性別・年齢階級別の把握		○	○	87.0	○	52.2
問13-1-2	(4-b)がん発見率 検診機関別の把握		○	○	78.3	○	34.8
問13-1-3	(4-c)がん発見率 検診受診歴別の把握		○	○	60.9	○	34.8
問15-1	(5)早期がん割合の把握	(5-a)～(5-d)の うち、4項目中2 項目以上○で(5) は◎とする。	◎	◎	73.9	◎	43.5
問16-1	(5-a)（胃がん）粘膜内がんの把握		○	○	73.9	○	30.4
問15-1-1	(5-b)早期がん割合 性別・年齢階級別の把握		○	○	69.6	○	39.1
問15-1-2	(5-c)早期がん割合 検診機関別の把握		○	○	69.6	○	34.8
問15-1-3	(5-d)早期がん割合 検診受診歴別の把握		○	○	60.9	○	34.8
問14-1	(6)陽性反応適中度の把握	(6-a)～(6-c)の うち、3項目中2 項目以上○で(6) は◎とする。	◎	◎	82.6	◎	56.5
問14-1-1	(6-a)陽性反応適中度 性別・年齢階級別の把握		○	○	78.3	○	52.2
問14-1-2	(6-b)陽性反応適中度 検診機関別の把握		○	○	69.6	○	34.8
問14-1-3	(6-c)陽性反応適中度 検診受診歴別の把握		○	○	52.2	○	34.8
問6-1	(7)がん検診の集計の最終報告を都道府県に行っているか		◎	×	95.7	×	65.2
6.検診機関の委託							
問7-1	(1)委託検診機関の選定に際し、仕様書、もしくは市町村の実施要綱/要領に基づいて選定しているか		◎	◎	78.3	◎	43.5
問7-2	(2)仕様書、もしくは市町村の実施要綱/要領に必須の精度管理項目を明記しているか		×	×	60.9	×	26.1
2 全国精密検査受診率※との比較		全国平均以上で◎とする。	×	-		-	
チェックリスト点数			19	20		20	

※H26年度はH24年度全国平均40-69歳(79.8%)と比較。

H27年度はH25年度全国平均と比較するが、集計途中のため未比較。

平成27年度 大腸がん検診精度管理調査結果（チェックリスト） 【広島市】

検診種別		評価	点数		A判定まであと		B判定まであと	
大腸がん	集団	B	22点中	20 点	あと	2 点	あと	- 点
	個別	B	22点中	20 点	あと	2 点	あと	- 点

			集団			個別	
チェックリスト 質問番号	チェックリスト項目	備考	H26 (24項目)	H27 (22項目)	今年度 23市町 遵守率	H27 (22項目)	今年度 23市町 遵守率
1 「大腸がん検診のためのチェックリスト」で主要指標とされる以下の指標の実施状況							
1.検診対象者							
問1-1	(1)対象者の網羅的な名簿を住民台帳などに基づいて作成しているか		◎	◎	95.7	◎	73.9
問1-2	(2)対象者に均等に受診勧奨を行っているか		◎	◎	17.4	◎	21.7
検診方法							
	(1)検診実施機関における便潜血検査キット名を把握しているか		◎	-		-	
2.受診者の情報管理							
問2-1	(1)対象者数(推計含む)を把握しているか		◎	◎	100.0	◎	73.9
問9-1-1	(2)受診者数 性別・年齢階級別の把握		◎	◎	100.0	◎	78.3
問2-2	(3)個人別の受診(記録)台帳またはデータベースを作成しているか	(3-a)～(3-d)のうち、3項目中2項目以上○で(3)は◎とする。	◎	◎	91.3	◎	69.6
問9-1-3	(3-a)受診者数 検診受診歴別の把握		○	○	82.6	○	52.2
問9-1-2	(3-b)受診者数 検診機関別の把握		○	○	100.0	○	65.2
問2-3	(3-c)過去3年間の受診歴を記録しているか		○	○	87.0	○	69.6
3.要精検率の把握							
問10-1	(1)要精検率の把握		◎	◎	100.0	◎	73.9
問10-1-1	(2)要精検率 性別・年齢階級別の把握		◎	◎	95.7	◎	69.6
問10-1-2	(3)要精検率 検診機関別の把握		◎	◎	87.0	◎	52.2
問10-1-3	(4)要精検率 検診受診歴別の把握		◎	◎	73.9	◎	52.2
4.精検受診の有無の把握と受診勧奨							
問11-1	(1)精検受診率の把握	(1-a)～(1-b)のうち、2項目中1項目以上○で(1)は◎とする。	◎	◎	100.0	◎	73.9
問11-1-1	(1-a)精検受診率 性別・年齢階級別の把握		○	○	95.7	○	69.6
問11-1-2	(1-b)精検受診率 検診機関別の把握		○	○	78.3	○	47.8
問11-1-3	(2)精検受診率 検診受診歴別の把握		◎	◎	73.9	◎	52.2
問12-1	(3)精検未受診率の把握		◎	◎	100.0	◎	73.9
問4-2	(4)精検未受診者に精検の受診勧奨を行っているか		◎	◎	95.7	◎	52.2
5.精密検査結果の把握							
問4-1	(1)精密検査結果及び治療の結果を把握しているか		×	◎	100.0	◎	60.9
問5-1	(2)過去3年間の精密検査結果を記録しているか		◎	◎	87.0	◎	60.9
問4-1-2	(3)精密検査の検査方法を把握しているか		×	◎	87.0	◎	56.5
問13-1	(4)がん発見率の把握	(4-a)～(4-d)のうち、3項目中2項目以上○で(4)は◎とする。	◎	◎	91.3	◎	60.9
問13-1-1	(4-a)がん発見率 性別・年齢階級別の把握		○	○	87.0	○	56.5
問13-1-2	(4-b)がん発見率 検診機関別の把握		○	○	78.3	○	34.8
問13-1-3	(4-c)がん発見率 検診受診歴別の把握		○	○	60.9	○	34.8
問15-1	(5)早期がん割合の把握	(5-a)～(5-d)のうち、4項目中2項目以上○で(5)は◎とする。	◎	◎	73.9	◎	52.2
問16-1	(5-a)（大腸がん）粘膜内がんの把握		○	○	73.9	○	43.5
問15-1-1	(5-b)早期がん割合 性別・年齢階級別の把握		○	○	69.6	○	47.8
問15-1-2	(5-c)早期がん割合 検診機関別の把握		○	○	69.6	○	39.1
問15-1-3	(5-d)早期がん割合 検診受診歴別の把握		○	○	60.9	○	39.1
問14-1	(6)陽性反応適中度の把握	(6-a)～(6-c)のうち、3項目中2項目以上○で(6)は◎とする。	◎	◎	82.6	◎	56.5
問14-1-1	(6-a)陽性反応適中度 性別・年齢階級別の把握		○	○	78.3	○	52.2
問14-1-2	(6-b)陽性反応適中度 検診機関別の把握		○	○	69.6	○	34.8
問14-1-3	(6-c)陽性反応適中度 検診受診歴別の把握		○	○	52.2	○	30.4
問6-1	(7)がん検診の集計の最終報告を都道府県に行っているか		◎	×	95.7	×	69.6
6.検診機関の委託							
問7-1	(1)委託検診機関の選定に際し、仕様書、もしくは市町村の実施要綱/要領に基づいて選定しているか		◎	◎	82.6	◎	52.2
問7-2	(2)仕様書、もしくは市町村の実施要綱/要領に必須の精度管理項目を明記しているか		×	×	60.9	×	39.1
2 全国精密検査受診率※との比較		全国平均以上で◎とする。	×	-		-	
チェックリスト点数			20	20		20	

※H26年度はH24年度全国平均40-69歳(64.4%)と比較。

H27年度はH25年度全国平均と比較するが、集計途中のため未比較。

平成27年度 肺がん検診精度管理調査結果（チェックリスト）

【広島市】

検診種別		評価	点数		A判定まであと		B判定まであと	
肺がん	集団	B	22点中	20 点	あと	2 点	あと	- 点
	個別	B	22点中	20 点	あと	2 点	あと	- 点

			集団			個別	
チェックリスト 質問番号	チェックリスト項目	備考	H26 (23項目)	H27 (22項目)	今年度 23市町 遵守率	H27 (22項目)	今年度 23市町 遵守率
1 「肺がん検診のためのチェックリスト」で主要指標とされる以下の指標の実施状況							
1.検診対象者							
問1-1	(1)対象者の網羅的な名簿を住民台帳などに基づいて作成しているか		◎	◎	95.7	◎	65.2
問1-2	(2)対象者に均等に受診勧奨を行っているか		◎	◎	17.4	◎	13.0
2.受診者の情報管理							
問2-1	(1)対象者数(推計含む)を把握しているか		◎	◎	100.0	◎	69.6
問9-1-1	(2)受診者数 性別・年齢階級別の把握		◎	◎	100.0	◎	73.9
問2-2	(3)個人別の受診(記録)台帳またはデータベースを作成しているか	(3-a)～(3-d)のうち、3項目中2項目以上○で(3)は◎とする。	◎	◎	91.3	◎	65.2
問9-1-3	(3-a)受診者数 検診受診歴別の把握		○	○	82.6	○	56.5
問9-1-2	(3-b)受診者数 検診機関別の把握		○	○	100.0	○	65.2
問2-3	(3-c)過去3年間の受診歴を記録しているか		○	○	87.0	○	60.9
3.要精検率の把握							
問10-1	(1)要精検率の把握		◎	◎	100.0	◎	69.6
問10-1-1	(2)要精検率 性別・年齢階級別の把握		◎	◎	95.7	◎	65.2
問10-1-2	(3)要精検率 検診機関別の把握		◎	◎	87.0	◎	52.2
問10-1-3	(4)要精検率 検診受診歴別の把握		◎	◎	73.9	◎	56.5
4.精検受診の有無の把握と受診勧奨							
問11-1	(1)精検受診率の把握	(1-a)～(1-b)のうち、2項目中1項目以上○で(1)は◎とする。	◎	◎	100.0	◎	65.2
問11-1-1	(1-a)精検受診率 性別・年齢階級別の把握		○	○	95.7	○	60.9
問11-1-2	(1-b)精検受診率 検診機関別の把握		○	○	78.3	○	43.5
問11-1-3	(2)精検受診率 検診受診歴別の把握		◎	◎	73.9	◎	52.2
問12-1	(3)精検未受診率の把握		◎	◎	100.0	◎	69.6
問4-2	(4)精検未受診者に精密検査の受診勧奨を行っているか		◎	◎	95.7	◎	47.8
5.精密検査結果の把握							
問4-1	(1)精密検査結果及び治療の結果を把握しているか		×	◎	100.0	◎	52.2
問5-1	(2)過去3年間の精密検査結果を記録しているか		◎	◎	87.0	◎	56.5
問4-1-2	(3)精密検査の検査方法を把握しているか		×	◎	87.0	◎	56.5
問13-1	(4)がん発見率の把握	(4-a)～(4-d)のうち、4項目中2項目以上○で(4)は◎とする。	◎	◎	91.3	◎	56.5
問13-1-1	(4-a)がん発見率 性別・年齢階級別の把握		○	○	87.0	○	52.2
問13-1-2	(4-b)がん発見率 検診機関別の把握		○	○	78.3	○	34.8
問13-1-3	(4-c)がん発見率 検診受診歴別の把握		○	○	60.9	○	34.8
問13-1-4	(4-d)がん発見率 検査方法別の把握(肺がん)		-	○	52.2	○	34.8
問15-1	(5)早期がん割合の把握	(5-a)～(5-d)のうち、4項目中2項目以上○で(5)は◎とする。	◎	◎	73.9	◎	43.5
問15-1-1	(5-a)早期がん割合 性別・年齢階級別の把握		○	○	69.6	○	39.1
問15-1-2	(5-b)早期がん割合 検診機関別の把握		○	○	69.6	○	34.8
問15-1-3	(5-c)早期がん割合 検診受診歴別の把握		○	○	60.9	○	34.8
問15-1-4	(5-d)早期がん割合 検査方法別の把握		-	○	52.2	○	26.1
問14-1	(6)陽性反応適中度の把握	(6-a)～(6-d)のうち、4項目中2項目以上○で(6)は◎とする。	◎	◎	82.6	◎	56.5
問14-1-1	(6-a)陽性反応適中度 性別・年齢階級別の把握		○	○	78.3	○	52.2
問14-1-2	(6-b)陽性反応適中度 検診機関別の把握		○	○	69.6	○	34.8
問14-1-3	(6-c)陽性反応適中度 検診受診歴別の把握		○	○	52.2	○	34.8
問14-1-4	(6-d)陽性反応適中度 検査方法別の把握		-	○	52.2	○	34.8
問6-1	(7)がん検診の集計の最終報告を都道府県に行っているか		◎	×	95.7	×	65.2
6.検診機関の委託							
問7-1	(1)委託検診機関の選定に際し、仕様書、もしくは市町村の実施要綱/要領に基づいて選定しているか		◎	◎	78.3	◎	47.8
問7-2	(2)仕様書、もしくは市町村の実施要綱/要領に必須の精度管理項目を明記しているか		×	×	60.9	×	30.4
2 全国精密検査受診率※との比較			※全国平均以上で◎とする。	×	-	-	-
チェックリスト点数			19	20		20	

※H26年度はH24年度全国平均40～69歳(78.6%)と比較。

H27年度はH25年度全国平均と比較するが、集計途中のため未比較。

平成27年度 子宮頸がん検診精度管理調査結果（チェックリスト） 【広島市】

検診種別		評価	点数			A判定まであと		B判定まであと	
子宮頸がん	集団	B	22点中	20	点	あと	2 点	あと	- 点
	個別	B	22点中	20	点	あと	2 点	あと	- 点

			集団			個別	
チェックリスト 質問番号	チェックリスト項目	備考	H26 (23項目)	H27 (22項目)	今年度 23市町 遵守率	H27 (22項目)	今年度 23市町 遵守率
1 「子宮頸がん検診のためのチェックリスト」で主要指標とされる以下の指標の実施状況							
1.検診対象者							
問1-1	(1)対象者の網羅的な名簿を住民台帳などに基づいて作成しているか		◎	◎	95.7	◎	95.7
問1-2	(2)対象者に均等に受診勧奨を行っているか		◎	◎	21.7	◎	26.1
2.受診者の情報管理							
問2-1	(1)対象者数(推計含む)を把握しているか		◎	◎	100.0	◎	95.7
問9-1-1	(2)受診者数 性別・年齢階級別の把握		◎	◎	100.0	◎	100.0
問2-2	(3)個人別の受診(記録)台帳またはデータベースを作成しているか	(3-a)～(3-c)のうち、3項目中2項目以上○で(3)は◎とする。	◎	◎	91.3	◎	91.3
問9-1-3	(3-a)受診者数 検診受診歴別の把握		○	○	78.3	○	65.2
問9-1-2	(3-b)受診者数 検診機関別の把握		○	○	95.7	○	82.6
問2-3	(3-c)過去3年間の受診歴を記録しているか		○	○	87.0	○	87.0
3.要精検率の把握							
問10-1	(1)要精検率の把握		◎	◎	100.0	◎	95.7
問10-1-1	(2)要精検率 性別・年齢階級別の把握		◎	◎	95.7	◎	91.3
問10-1-2	(3)要精検率 検診機関別の把握		◎	◎	82.6	◎	65.2
問10-1-3	(4)要精検率 検診受診歴別の把握		◎	◎	69.6	◎	60.9
4.精検受診の有無の把握と受診勧奨							
問11-1	(1)精検受診率の把握	(1-a)～(1-b)のうち、2項目中1項目以上○で(1)は◎とする。	◎	◎	100.0	◎	95.7
問11-1-1	(1-a)精検受診率 性別・年齢階級別の把握		○	○	95.7	○	91.3
問11-1-2	(1-b)精検受診率 検診機関別の把握		○	○	78.3	○	65.2
問11-1-3	(2)精検受診率 検診受診歴別の把握		◎	◎	69.6	◎	60.9
問12-1	(3)精検未受診率の把握		◎	◎	100.0	◎	95.7
問4-2	(4)精検未受診者に精密検査の受診勧奨を行っているか		◎	◎	95.7	◎	73.9
5.精密検査結果の把握							
問4-1	(1)精密検査結果及び治療の結果を把握しているか		×	◎	100.0	◎	82.6
問5-1	(2)過去3年間の精密検査結果を記録しているか		◎	◎	87.0	◎	78.3
問4-1-2	(3)精密検査の検査方法を把握しているか		×	◎	87.0	◎	78.3
問13-1	(4)がん発見率の把握	(4-a)～(4-c)のうち、3項目中2項目以上○で(4)は◎とする。	◎	◎	91.3	◎	82.6
問13-1-1	(4-a)がん発見率 性別・年齢階級別の把握		○	○	87.0	○	78.3
問13-1-2	(4-b)がん発見率 検診機関別の把握		○	○	73.9	○	47.8
問13-1-3	(4-c)がん発見率 検診受診歴別の把握		○	○	56.5	○	47.8
問17-1	(5)上皮内病変数の区分毎、または上皮内がん割合の把握	(5-a)～(5-c)のうち、3項目中2項目以上○で(5)は◎とする。	◎	◎	73.9	◎	52.2
問17-1-1	(5-a)上皮内病変割合 性別・年齢階級別の把握		○	○	69.6	○	47.8
問17-1-2	(5-b)上皮内病変割合 検診機関別の把握		○	○	65.2	○	39.1
問17-1-3	(5-c)上皮内病変割合 検診受診歴別の把握		○	○	65.2	○	43.5
問14-1	(6)陽性反応適中度の把握	(6-a)～(6-c)のうち、3項目中2項目以上○で(6)は◎とする。	◎	◎	82.6	◎	73.9
問14-1-1	(6-a)陽性反応適中度 性別・年齢階級別の把握		○	○	78.3	○	69.6
問14-1-2	(6-b)陽性反応適中度 検診機関別の把握		○	○	69.6	○	47.8
問14-1-3	(6-c)陽性反応適中度 検診受診歴別の把握		○	○	52.2	○	43.5
問6-1	(7)がん検診の集計の最終報告を都道府県に行っているか		◎	×	95.7	×	91.3
6.検診機関の委託							
問7-1	(1)委託検診機関の選定に際し、仕様書、もしくは市町村の実施要綱/要領に基づいて選定しているか		◎	◎	78.3	◎	69.6
問7-2	(2)仕様書、もしくは市町村の実施要綱/要領に必須の精度管理項目を明記しているか		×	×	60.9	×	43.5
2 全国精密検査受診率※との比較		全国平均以上で◎とする。	×	-		-	
チェックリスト点数			19	20		20	

※H26年度はH24年度全国平均20～69歳(69.6%)と比較。

H27年度はH25年度全国平均と比較するが、集計途中のため未比較。

平成27年度 乳がん検診精度管理調査結果（チェックリスト） 【広島市】

検診種別		評価	点数		A判定まであと	B判定まであと
乳がん	集団	B	22点中	20 点	あと 2 点	あと - 点
	個別	B	22点中	20 点	あと 2 点	あと - 点

			集団			個別	
チェックリスト 質問番号	チェックリスト項目	備考	H26 (23項目)	H27 (22項目)	今年度 23市町 遵守率	H27 (22項目)	今年度 23市町 遵守率
1 「乳がん検診のためのチェックリスト」で主要指標とされる以下の指標の実施状況							
1.検診対象者							
問1-1	(1)対象者の網羅的な名簿を住民台帳などに基づいて作成しているか		◎	◎	95.7	◎	95.7
問1-2	(2)対象者に均等に受診勧奨を行っているか		◎	◎	21.7	◎	26.1
2.受診者の情報管理							
問2-1	(1)対象者数(推計含む)を把握しているか		◎	◎	100.0	◎	95.7
問9-1-1	(2)受診者数 性別・年齢階級別の把握		◎	◎	100.0	◎	100.0
問2-2	(3)個人別の受診(記録)台帳またはデータベースを作成しているか	(3-a)～(3-d)のうち、3項目中2項目以上○で(3)は◎とする。	◎	◎	91.3	◎	91.3
問9-1-3	(3-a)受診者数 検診受診歴別の把握		○	○	78.3	○	69.6
問9-1-2	(3-b)受診者数 検診機関別の把握		○	○	95.7	○	82.6
問2-3	(3-c)過去3年間の受診歴を記録しているか		○	○	87.0	○	87.0
3.要精検率の把握							
問10-1	(1)要精検率の把握		◎	◎	100.0	◎	95.7
問10-1-1	(2)要精検率 性別・年齢階級別の把握		◎	◎	95.7	◎	91.3
問10-1-2	(3)要精検率 検診機関別の把握		◎	◎	82.6	◎	65.2
問10-1-3	(4)要精検率 検診受診歴別の把握		◎	◎	69.6	◎	65.2
4.精検受診の有無の把握と受診勧奨							
問11-1	(1)精検受診率の把握	(1-a)(1-b)のうち、2項目中1項目以上○で(1)は◎とする。	◎	◎	100.0	◎	95.7
問11-1-1	(1-a)精検受診率 性別・年齢階級別の把握		○	○	95.7	○	91.3
問11-1-2	(1-b)精検受診率 検診機関別の把握		○	○	78.3	○	65.2
問11-1-3	(2)精検受診率 検診受診歴別の把握		◎	◎	69.6	◎	65.2
問12-1	(3)精検未受診率の把握		◎	◎	100.0	◎	95.7
問4-2	(4)精検未受診者に精密検査の受診勧奨を行っているか		◎	◎	95.7	◎	73.9
5.精密検査結果の把握							
問4-1	(1)精密検査結果及び治療の結果を把握しているか		×	◎	100.0	◎	82.6
問5-1	(2)過去3年間の精密検査結果を記録しているか		◎	◎	87.0	◎	78.3
問4-1-2	(3)精密検査の検査方法を把握しているか		×	◎	87.0	◎	78.3
問13-1	(4)がん発見率の把握	(4-a)～(4-d)のうち、4項目中2項目以上○で(4)は◎とする。	◎	◎	91.3	◎	82.6
問13-1-1	(4-a)がん発見率 性別・年齢階級別の把握		○	○	87.0	○	78.3
問13-1-2	(4-b)がん発見率 検診機関別の把握		○	○	73.9	○	47.8
問13-1-3	(4-c)がん発見率 検診受診歴別の把握		○	○	56.5	○	47.8
問13-1-4	(4-d)がん発見率 検査方法別の把握(乳がん)		○	○	56.5	○	47.8
問15-1	(5)早期がん割合の把握	(5-a)～(5-e)のうち、5項目中3項目以上○で(5)は◎とする。	◎	◎	69.6	◎	56.5
問16-1	(5-a)(乳がん)非浸潤がんの把握		○	○	78.3	○	52.2
問15-1-1	(5-b)早期がん割合 性別・年齢階級別の把握		○	○	65.2	○	52.2
問15-1-2	(5-c)早期がん割合 検診機関別の把握		○	○	65.2	○	43.5
問15-1-3	(5-d)早期がん割合 検診受診歴別の把握		○	○	56.5	○	43.5
問15-1-4	(5-e)早期がん割合 検査方法別の把握		○	○	47.8	○	34.8
問14-1	(6)陽性反応適中度の把握	(6-a)～(6-d)のうち、4項目中2項目以上○で(6)は◎とする。	◎	◎	82.6	◎	73.9
問14-1-1	(6-a)陽性反応適中度 性別・年齢階級別の把握		○	○	78.3	○	69.6
問14-1-2	(6-b)陽性反応適中度 検診機関別の把握		○	○	69.6	○	47.8
問14-1-3	(6-c)陽性反応適中度 検診受診歴別の把握		○	○	52.2	○	43.5
問14-1-4	(6-d)陽性反応適中度 検査方法別の把握		○	○	56.5	○	47.8
問6-1	(7)がん検診の集計の最終報告を都道府県に行っているか		◎	×	95.7	×	91.3
6.検診機関の委託							
問7-1	(1)委託検診機関の選定に際し、仕様書、もしくは市町村の実施要綱/要領に基づいて選定しているか		◎	◎	78.3	◎	69.6
問7-2	(2)仕様書、もしくは市町村の実施要綱/要領に必須の精度管理項目を明記しているか		×	×	60.9	×	43.5
2 全国精密検査受診率※との比較			全国平均以上で◎とする。				
チェックリスト点数			19	20		20	

※H26年度はH24年度全国平均40～69歳(84.6%)と比較。

H27年度はH25年度全国平均と比較するが、集計途中のため未比較。

広島市 様 ～がん検診精度管理～

あなたの町の「まとめ」です。今後のがん検診精度管理事業の参考にしましょう！

【出典】

「市町村事業におけるがん検診の事業評価の手法について」平成 19 年 6 月がん検診に関する検討会
「今後の我が国におけるがん検診事業評価のあり方について 報告書」より

各がん検診に関する事業評価指標とそれぞれの許容値・目標値

精検受診率	許容値	70%以上	70%以上	70%以上	80%以上	70%以上
	目標値	90%以上	90%以上	90%以上	90%以上	90%以上
未把握率	許容値	10%以下	10%以下	10%以下	10%以下	10%以下
	目標値	5%以下	5%以下	5%以下	5%以下	5%以下
精検未受診率	許容値	20%以下	20%以下	20%以下	10%以下	20%以下
	目標値	5%以下	5%以下	5%以下	5%以下	5%以下

つぎの指標は、基本的には、検診実施機関に求められる精度管理指標です。ただし、がん発見率はその集団の年齢、性別、風土などにも影響を受けます。

	胃がん	大腸がん	肺がん	乳がん	子宮頸がん
要精検率（許容値）	11.0%以下	7.0%以下	3.0%以下	11.0%以下	1.4%以下
がん発見率（許容値）	0.11%以上	0.13%以上	0.03%以上	0.23%以上	0.05%以上
陽性反応的中度（許容値）	1.0%以上	1.9%以上	1.3%以上	2.5%以上	4.0%以上

精検受診率向上

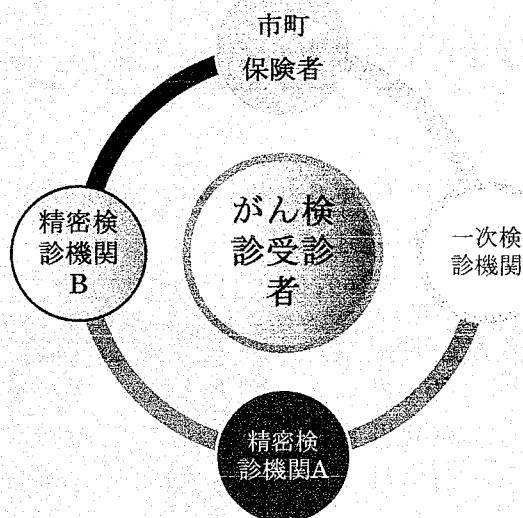
「がん検診」の大きな目的は、「がんによる死亡者」を減少させることです。がん対策推進基本計画中間評価（平成 27 年 6 月）において、年齢調整死亡率の推移【人口 10 万対 92.4（2005 年）→80.1（2013 年）】は減少傾向ながら、全体目標（がんによる死亡者の 20%減少）の達成が難しいという統計予測が出ています。

がんの早期発見・早期治療につなげるためにも、「精密検診」の必要性を周知させるための、取組が急務です。あなたの町の大切な住民の命を守るためにも、精度の高い検診と検診情報の提供に努めましょう。

未把握率改善のために

要精密検査となった対象者の精検受診状況を的確に把握するためには、「一次検診機関と精密検診機関と保険者（市町）」が、ともに情報の共有が出来るような仕組みづくりが重要です。精密検診機関に向けての情報提供等の協力依頼などを行いましょう。

標準様式は、「広島がんネット」<http://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/gan-net/> を参照しましょう。現在、胃がん・大腸がん・子宮がん・乳がんの様式が示されています。肺がんについては、順次作成予定です。精密検診機関から、市町への精検結果等の情報提供については、つぎに示すガイドラインを参照して下さい。



医療・介護関係事業者における個人情報
の適切な取り扱いのためのガイドラ
イン：(平成22年9月17日改正) 厚
生労働省 個人データの第三者提供
(法第23条)

三 公衆衛生の向上または児童の健
全な育成の推進のために特に必要があ
る場合であつて、本人の同意を得るこ
とが困難であるとき。

返信用封筒を同封した「精密検診依頼文」であれば、回収率は改善します！

検診に関するデータの提供協力により、自分の町の「がんの状況」を把握することは、「がん対策」や「がん研究」に役立てることが出来ます。また「がん登録」も平成25年12月から法制化されました。個人情報の取扱いについての正しい理解により、全ての患者と家族の苦痛の軽減などの施策にもつながります。全てのがん患者と家族に、質の高い療養生活を提供するためにも、情報の収集は必要です。

がん検診の重要性についての情報提供をしましょう！

がん10年生存率(国立がん研究センター)

部位別	5年(%)	10年(%)
胃がん	70.9	69.0
大腸がん	72.1	69.8
肝臓がん	32.2	15.3
肺がん	39.5	33.2
乳がん	88.7	80.4
前立腺がん	87.4	84.4

5年経過後も
定期的な検診が
重要である

3ポイント

定期的な検診で早
期に見つかること
が重要！

出典：国立がん研究センターがん情報サービス「がん登録・統計」
<http://www.zengankyo.ncc.go.jp/>

病期別、部位別

病期	胃	大腸	膵臓	肺	乳房	子宮頸
病期Ⅰ(早期)	95.1	96.8	29.6	69.3	93.5	91.3
病期Ⅱ	62.7	84.4	11.2	31.4	85.5	63.7
病期Ⅲ(リンパ節転移あり)	38.9	69.6	3.1	16.1	53.8	50.0
病期Ⅳ(他臓器転移あり)	7.5	8.0	0.9	3.7	15.6	16.5

あなたの市の状況です。

次の標記中、「受診率」は 40～69 歳を対象とした値です。また「精検受診率および未把握率等」は、全年齢で示しています。次の示すコメントにつきましては、本章 1 頁および詳細資料 11～20 頁をご参照下さい。詳細資料における受診率は平成 25 年度（確報値）精検受診率については（速報値）です。

- 胃がん検診：受診率は、平成 25 年度と比較して平成 26 年度は 11.7%と上昇しています。精検受診率は、平成 24 年度 76.6%に比較すると平成 25 年度 56.6%と非常に低下しています。また、未把握率についても年々、上昇しています。精検受診率をあげる工夫とともに精検を受けたかどうか追跡把握するが重要です。
- 大腸がん検診：受診率は、平成 25 年度と比較すると平成 26 年度において 21.5%とわずかに上昇しています。しかし、精検受診率は、年々低下しています。また、未把握率が 58.1%と県内 2 番目に高い状態です。女性の部位別がんによる死亡の 1 位は「大腸がん」です。一次スクリーニングの便潜血検査は、大腸がんによる死亡の減少に効果があるというエビデンスがあり、検診の中でも推奨グレード A です。住民への広報に工夫をしましょう。
- 肺がん検診：受診率は、平成 25 年度 18.0%と平成 26 年度 21.1%を比較しますとわずかに上昇しています。精検受診率は年々低下しています。平成 25 年度は 42.6%で、精密検査が必要と言われた人のうち、約 4 割しか精密検査を受けていない現状です。要精密検査となった人の約 3～4%が「がん」であり、それ以外の良性の疾患が見つかることの方が多いのです。しかし、「肺がん」だったら、5 年相対生存率は 39.5%と、他のがんに比較して低くなっています。男性の部位別がん死亡の 1 位は「肺がん」です。
- 子宮頸がん検診：平成 26 年度の受診率は 45.2%で、特に個別検診の伸びが認められます。広島県平均 41.5%を上回っています。しかし、精検受診率は平成 24 年度 53.3%でしたが、平成 25 年度は 39.0%とかなり低下しています。未把握率が 60.7%と非常に高く、精検対象者の追跡方法に工夫が必要です。
- 乳がん検診：平成 26 年度の受診率は個別検診 34.4%、集団検診と合わせますと 40.6%で子宮頸がんと同様の動きが確認できます。精検受診率は平成 24 年度 76.9%でしたが、平成 25 年度は 64.3%と減少しています。また、未把握率が 35.5%と高く、子宮頸がんと同様に精検対象者の追跡について工夫が必要です。

いずれのがん検診でも「受診率」が上がっていることは、努力が伺えます。しかし、精検受診率が低下し、未把握率が高いことから、精検実施機関への報告依頼、返信用封筒の工夫など精検対象者の追跡調査の工夫をしていきましょう。

作成：公益財団法人広島県地域保健医療推進機構

健康づくり推進部 健康推進課

お問い合わせ：Mail kikaku@hiroshima-hm.or.jp

電話 082-254-7132 (ダイヤルイン)